

平成28年7月5日

報 告 書

大田原市広報広聴委員会委員長 大豆生田 春美 様

大田原市議会 第2班班長 菊池久光



大田原市議会報告会実施要項第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日 時 平成28年6月28日（火） 午後7時00分～午後8時15分
2. 会 場 黒羽川西地区公民館
3. 担当議員と役割
【担当議員】
 - 菊池久光（班長）
 - 菊池久光（司会者）
 - 中川雅之（総務常任委員会発表者）
 - 黒沢昭治（民生 “ ”）
 - 深沢賢一（建設産業 “ ”）
 - 弓座秀之（文教 “ ”）
 - 菊池久光（タブレット操作）
 - 高崎和夫（記録）
4. 参加者 別紙受付表のとおり
 - ・市内 37名（男性29名、女性8名）
 - ・市外 0名（男性0名、女性0名）

5. 主な意見と要望

各委員会報告内容について

- ① 行政視察の内容を執行部に報告したということのようにしか取れない。
- ② スライドが見つらい。
- ③ 第一回ということで、大田原市の議会が取り組んでいる重要な案件があるのかなといった思いで来たのだが、各委員会の報告ということで残念であった。
- ④ Q. 議会の傍聴はいつでもやって知るのが。また傍聴する手続きは。
A. 議会開催中はどなたでも傍聴できます。いつ開催されるかについては広報や新聞に掲載されるのでそちらをご覧くださいと思います。
- ⑤ Q. 子育て支援券について説明をいただいたのだが、昨年度までの支援券の利用について説明があったが、今回前回の支援券の利用が中止になった、今回の説明だと私が買った支援券は市に2%の売上金が入るんだということだけが強調されて本来の地域の皆さんが子育て支援券を利用したときにどういった特典があるのかが聞き取れなかったので説明してほしい。
A. 今回の説明の子育て支援券は、昨年度のプレミアム付き子育て支援券とは全く別のものになります。従来大田原市でやっていた子育て支援券になるので全く別で考えていただきたいと思います。もともとの考え方が市内の消費拡大を担うといった考えで、2%については大田原市の未来を担う子供たちに使わせていただくということで子育て基金に積み立てられ、子供たちの予防接種などのワクチン等に利用されております。
Q. 話している趣旨はわかるが、私たち市民にとっては、プレミアムがあったほうが、これからも同じ方法をとっていただけるのかどうか。
A. 今のところ今までと同じという考え方でございますので、プレミアムはつきません。

テーマ① 「地域公共交通について」

Q デマンド交通が日赤までしか行っていないが福祉大まで行きたい。福祉大まで行けばいろんな所に行くバスが出ているので。

A 申し入れは執行部のほうにしておきます。

Q 時刻表が非常に見づらい。小さくて見づらいのもう少しわかりやすくしてほしい。大きいものでわかりやすい時刻表を考えてもらいたい。

A

Q デマンドは医者に行くほうが多いのか。ということであれば今後日赤以外も考えたほうが良いのでは。

A 今回の報告会の中でそういった話があったということは執行部との協議の中に入れていきたい。

Q デマンドは登録しないとダメなのか、登録しなくても乗れるようにならないか。

A 要望としては上げておくが、すぐに登録できるのでまずは登録してほしい。

Q 福祉タクシーとデマンドの違いは。

A 福祉タクシーは介護認定を受けられた方とかですが、デマンドはどなたでも利用可能です。

Q デマンドの料金は距離によって違うのか。

A 一律 300 円。距離は関係ありません。

Q デマンドは黒羽町内しか、あとは日赤しか行けないのか。誰でも登録すれば乗れるのか。

A 今のところ日赤のみ。登録すれば誰でも利用可能です。

Q デマンドの予約は何日か前にするのか。

A 前日で大丈夫です。

Q 文化研究所にまわせないか。

A 報告会の中でそういった話があったということは執行部に伝えます。

Q デマンド登録はどこで申請するのか。

A 市役所や支所で申請できます。

Q スクールバスに一般の方は乗れないのか。

A 所管をしているところが違うのでなかなか難しい。

Q デマンド登録のPR強化

高齢者は、登録が難しいので家族・民生委員・見守り隊を積極的に活用し登録の増加を図ったり、今までの利用状況をまとめた資料とともに、もう一度登録の通知をだし登録の増加を図ってはどうか

A

Q 自治会・民生委員・敬老の日・ほほえみセンター等を活用し交通空白地域を中心にデマンドの登録推進を図ってはどうか

A

Q かかりつけの病院や日赤に朝は家族の車で送ってもらったりしているが、帰りの足がないのでデマンド等をつかいたいが、使い勝手が良くないし待ち時間が多いので、もう少し使いやすくできないか。

A

Q 福祉タクシーやデマンド・外出支援も登録していないと使えないのか。

A 予約しないと使えない制度になっております。

テーマ② 「今後の議会報告会のあり方について」

Q もっと活動内容が目に見えるものを報告してほしい。

A 今後の参考にさせていただきます。

Q 内容が議会だよりと同じではないか。

A 今後の参考にさせていただきます。

Q 手元に資料がほしい。

A 今後の参考にさせていただきます。

Q 文教常任委員会の説明はわかりやすく良かった。第何条の改正とか言われてもわからない。もっとわかり易くかみ砕いて説明がほしい。

A 今後の参考にさせていただきます。

Q 各地区ではやらないのか。

A 今後についてはまだ未定。

Q タブレットの良い点は。

A ペーパーレス化が図られ、ほとんどの資料がタブレットの中に入っている。議会の招集や連絡などもタブレットで可能である。

Q 時間がないしガチャガチャで何を言ってるのかわからない。

A 今後の参考にさせていただきます。

Q 個人の議員の報告会をやった方がずっと良い。

A 今後の参考にさせていただきます。

Q 報告会をやったことによって議会のイメージが逆に悪くなっているのでは、もっと議員一人一人が勉強したほうが良い。

A

Q 報告内容に対する資料不足(パワーポイントをもっと有効活用)

A

Q 報告内容が難しいので市民・高齢者にわかりやすくしてほしい

A

Q 議会報告会を年数回開催して欲しいし、各地域で開催して欲しい。

A

Q 直接議員と話ができる機会がもてるので、報告会を多く開催してほしい。

A

Q 建設関係とかで道路とかの工事がいつごろできるとかの情報が知りたい。

A

Q 市政懇談会の日程がわからないのもう少し地域の人に知らせるべき。

A

Q 今取り組んでいる重要な課題で報告会を開いてほしい。

A

Q 意見交換会は部屋を分けてほしい、騒がしすぎて聞き取れない。

A

6. 議会報告会の所感等

条例改正等の説明を受けても良くわからない、スライドが見づらいので手元に資料がほしいなどの意見が多くみられた。

今回の報告会をやった事によって議会の質を下げたのではないか、議員一人一人がもっと勉強したほうが良いなど厳しい意見もあった。

ざわざわして何言っているのかわからないなどの意見があった反面、このような場所を提供していただいてありがたいなどの意見もあった。